

事 務 連 絡
令和 5 年 8 月 22 日

各事務所 事務局長 殿

都府県地区軽自動車協会 専務理事 殿

全軽自協 事業部長

軽自動車の電子車検証に関する情報等の軽自動車検査協会ホームページへの
掲載について（掲載資料の修正）

標記については、「軽自動車の電子車検証に関する情報等の軽自動車検査協会ホームページへの掲載について（情報提供）」（令和5年8月17日付け、事務連絡）にてお知らせしましたが、今般、軽自動車検査協会より、掲載資料（二次元コード仕様書）に一部誤りがあったため、修正し同協会HPに差し替え版を掲載した旨の連絡がありましたので、お知らせ致します。（別紙参照）

なお、必要に応じて会員ディーラー等への展開をお願い致します。



二次元コード仕様書の修正を行いました



[2023年8月22日 更新]

令和5年8月16日に自動車検査証の電子化ページに掲載した「二次元コード仕様書」に一部誤りがあったため、修正し差し替えを行いました。修正箇所は以下のとおりです。

該当ページ：10/15ページ

該当の二次元コード：コード3の項番20（予備項目）

修正箇所：桁数

正：半角3

誤：半角6



▶ [各種帳票等に表示する二次元コード仕様書について](#)
関連ページへのリンク

制定年月日	2023. 08. 16
改訂年月日	初版
適用年月日	2024. 01. 04

各帳票に表示する二次元コードの仕様書

軽自動車検査協会

【本仕様書ご利用に当たっての注意事項】

- 内容の変更

本仕様書の内容は、当協会の都合により予告なく変更される場合があります。

- 著作権

本仕様書の内容は著作権の対象となっています。著作権は、日本国著作権法及び国際条約により保護されています。

ただし、このことは、ソフトウェア開発者がこの仕様に基づいた供給者ソフトウェアを開発し、市場に供給することを妨げるものではありません。

- 免責事項

本仕様書の内容の正確性については万全を期していますが、軽自動車検査協会は、この仕様書に含まれる情報の利用に伴って発生した不利益や問題について、誰に対しても何ら責任を負うものではありません。

1. 二次元コードの形式等

二次元コードの形式はQRコード（JIS-X-0510）とする。

① 自動車検査証（電子）に表示する二次元コードの形式

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.40	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.40	5 (セル数(37×37))

② 自動車検査証（電子）以外に表示する二次元コードの形式

コード名称	コード分割数	誤り訂正率	セルの大きさ (mm/セル)	バージョン番号
コード1	1 (分割なし)	Q (25%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード2	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード3	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード4	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード5	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード6	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))
コード7	1 (分割なし)	M (15%)	0.303	5 (セル数(37×37))

2. 各帳票における二次元コード表示有無

帳票名	二次元コード番号						
	1	2	3	4	5	6	7
自動車検査証（紙） 令和5年12月まで	○	○	○	○	○	○	—
自動車検査証（電子） 令和6年1月から	—	○	○	—	—	—	—
限定自動車検査証	○	○	○	○	○	○	—
自動車予備検査証	○	○	○	○	○	○	—
自動車検査証返納証明書	○	○	○	○	○	○	○
輸出予定届出証明書	○	—	—	—	—	—	—
検査記録事項等証明書	○	—	—	—	—	—	—
検査記録事項等証明書（現在記録）	○	—	—	—	—	—	—
自動車検査証記録事項	—	○	○	—	—	—	—

3. 格納情報

二次元コード中、各項目の区切り文字として、半角スラッシュ（ / ）を格納する。

【コード１】

項 番	内 容	固定／ 可変	桁 数	記 事
1	システム I D	固定	半角 1	" K" を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角 2	" 02" を設定する。
3	輸出整理番号	固定	半角 1 6	輸出予定届出証明書の場合、輸出整理番号を設定する。 その他の帳票の場合、空欄を設定する。
4	車両番号	固定	全角 1 2	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字（4 桁）＋分類番号（3 桁）＋かな 文字（1 桁）＋一連番号（4 桁）の順に設定する。 (例) 品川△△4 0 △あ△△△ 1 ※小板の場合、分類番号＋標板文字＋かな文字＋一連番号の 順に設定する。 (例) 4 0 △品川△△あ△△△ 1 ※予備検査証番号の場合、標板文字＋" △△△" ＋かな文字 ＋一連番号の順に設定する。 (例) 品川△△△△△ F △△ 1 2
5	車台番号	固定	半角 2 0	車台番号を設定する（左詰）。 (例) ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭 2 桁を [] で囲んだ値を設定する。
6	型式指定番号 類別区分番号	固定	半角 9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 (例) 123451234 ※一般車の場合は、空欄を設定する。

△：全角スペース ▲：半角スペース

【コード2】

項番	内容	固定／可変	桁数	記事
1	システム ID	固定	半角 1	“ K ” を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角 2	“ 22 ” を設定する。 (1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	車両番号	固定	全角 1 2	車両番号を設定する。 ※中板の場合、標板文字 (4 桁) + 分類番号 (3 桁) + かな文字 (1 桁) + 一連番号 (4 桁) の順に設定する。 (例) 品川△△4 0 △あ△△△ 1 ※小板の場合、分類番号 + 標板文字 + かな文字 + 一連番号の順に設定する。 (例) 4 0 △品川△△あ△△△ 1 ※予備検査証番号の場合、標板文字 + “ △△△ ” + かな文字 + 一連番号の順に設定する。 (例) 品川△△△△△F△△ 1 2
4	標板の枚数・ 大きさ	固定	半角 1	標板の大きさ、枚数、および、字光/ペイント、一般払出番号/希望番号の組み合わせで設定する。 <u>設定値</u> : <u>分類</u> 1 (希望番号の場合はA) : 中板・2 枚・ペイント 2 (希望番号の場合はB) : 小板・2 枚・ペイント 3 (希望番号の場合はC) : 中板・1 枚・ペイント 4 (希望番号の場合はD) : 小板・1 枚・ペイント 5 (希望番号の場合はE) : 中板・2 枚・字光 6 (希望番号の場合はF) : 小板・2 枚・字光 7 (希望番号の場合はG) : 中板・1 枚・字光 8 (希望番号の場合はH) : 小板・1 枚・字光 予備検査証番号および転入返納番号の場合、“ - ” を設定する。
5	車台番号	可変	半角 2 0	車台番号を設定する。 (例) ABCDE-01234567 ※職権打刻の場合、先頭 2 桁を [] で囲んだ値を設定する。
6	原動機型式	可変	半角 2 4	原動機型式を設定する。 (例) TN360E [41]12-AB12 ※職権打刻の場合、先頭 2 桁を [] で囲んだ値を設定する。 ※不明の場合、“ *FUMEI ” とする。 ※存在しない場合は、“ - ” とする。

7	帳票種別	固定	半角 1	出力帳票の種別を設定する。 設定値 : 帳票名 1 : 自動車検査証 2 : 自動車予備検査証 3 : 限定自動車検査証 (その 1) 4 : 自動車検査証返納証明書
---	------	----	------	---

△ : 全角スペース ▲ : 半角スペース

【コード3】

項番	内容	固定／可変	桁数 (バイト数)	記事
1	システム I D	固定	半角 1	“ K” を設定する。
2	バージョン 番号	固定	半角 2	“ 32” を設定する。 (1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	車台番号 打刻位置	固定	半角 3	車台番号打刻位置をコードで設定する。 (例) 123 ※原簿ファイルに車台番号打刻位置が設定されていない場合、“ -▲▲” を設定する。
4	型式指定番号 類別区分番号	可変	半角 9	型式指定番号・類別区分番号を設定する。 (例) 123451234 ※一般車の場合は、設定しない。
5	有効期間 満了日	固定	半角 6	自動車検査証の場合、“999999”を設定する。 自動車検査証以外の場合、有効期間満了日 (YYMMDD (西暦下2桁月日)) を設定する。 (例) 090401 ※未設定の場合は、“ 999999” を設定する。
6	初度検査年 月	固定	半角 4	西暦下2桁＋月2桁で設定する。 (例) 0904 ※未設定の場合は、“ 9999” を設定する。 ※月のみ未設定の場合は、西暦下2桁＋“ 99” を設定する。
7	型式	可変	半角 2 0	型式を設定する。 (例) TN360E ※試作車の場合、“ *SHISAKU” とする。 ※試作車の場合 (通常の型式の末尾につく場合)、型式＋ “ *S” とする。 ※組立車の場合、“ *KUMITATE” とする。 ※不明の場合、“ *FUMEI” とする。 ※改造車の場合、型式＋“ *K” とする。
8	軸重 (前前)	固定	半角 4	軸重 (前前) を設定する (1 0 k g 単位)。 (例) 0123 (1230kg) ※型式車の場合、諸元ファイルの前前軸重を設定する。 ※一般車の場合、原簿ファイルの前軸重を設定する (1 の位は切捨て)。 ※設定されていない場合は、“ -▲▲▲” とする。
9	軸重 (前後)	固定	半角 1	“ -” を設定する。
10	軸重 (後前)	固定	半角 1	“ -” を設定する。

11	軸重（後後）	固定	半角 4	軸重（後後）を設定する（10kg単位）。 （例）0123 （1230kg） ※型式車の場合、諸元ファイルの後後軸重を設定する。 ※一般車の場合、原簿ファイルの後軸重を設定する（1の位は切捨て）。 ※設定されていない場合は、“-▲▲▲”とする。
12	騒音規制	固定	半角 2	騒音規制区分を設定する。 平成 10 年騒音規制適合車の場合：“10” 平成 11 年騒音規制適合車の場合：“11” 平成 12 年騒音規制適合車の場合：“12” 平成 28 年騒音規制適合車の場合：“28” 騒音規制対象外車の場合：“-▲”
13	近接排気 騒音規制値	固定	半角 3	近接排気騒音規制値を設定する。 （例）096 ※3桁未満の場合先頭0埋め 近接排気騒音規制値がない場合“-▲▲”
14	駆動方式	固定	半角 1	“-”を設定する。
15	オパシメータ 測定車	固定	半角 1	“-”を設定する。
16	NOx・PM 測定モード	固定	半角 1	“-”を設定する。
17	NOx 値	固定	半角 4	“-▲▲▲”を設定する。
18	PM値	固定	半角 5	“-▲▲▲▲”を設定する。

19	燃料の種類 コード	固定	半角 2	燃料種類コード（OCR コード）を設定する。 01：ガソリン 02：軽油 03：L P G 04：灯油 05：電気 06：ガソリン・L P G（併用式） 07：ガソリン・灯油（併用式） 08：メタノール 09：C N G 11：L N G 12：A N G 13：圧縮水素 14：ガソリン・電気 15：L P G・電気 16：軽油・電気 17：ガソリン L P G（切替式） 18：ガソリン 灯油（切替式） 99：その他 --：-
20	予備項目	固定	半角 3	" 999" を設定する。

△：全角スペース ▲：半角スペース

【コード4】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システム I D	半角 1	“ K” を設定する。
2	バージョン 番号	半角 2	“ 51” を設定する。 (1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	使用者氏名	全角 3 5	使用者氏名（低水準）の先頭 3 5 桁を設定する。 ※QRコードが高水準文字に対応していないため、使用者氏名（低水準）を設定する。 ※所有者ファイル索引エラーの場合は、“ *”（全角アスタリスク）を設定する。 ※設定されていない場合は、“ -”（全角ハイフン）とする。

【コード5】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システム I D	半角 1	“ K” を設定する。
2	バージョン 番号	半角 2	“ 61” を設定する。 (1桁目はコード番号、2桁目は改定番号)
3	使用者住所	全角 3 5	検査証出力用に編集した使用者住所の先頭 3 5 桁を設定する。 (丁目、番地等を含む) ※所有者ファイル、住所ファイル、PM0ファイル索引エラーの場合は、“ *” (全角アスタリスク)を設定する。 ※番地例外表示ファイル索引エラーの場合は、“ *” (全角アスタリスク)を付して[]内にそのコードを設定する(すべて全角)。 例：静岡県沼津市旭町1丁目34* [¥200] ※35桁目がコード途中でも36桁以降は切り捨てる 例：愛知県海部郡十四山村竹田新田東堤善太川通東堤防横 内法1丁目34* [¥200] (38桁) →愛知県海部郡十四山村竹田新田東堤善太川通東堤防横 内法1丁目34* [¥2 (35桁) ※設定されていない場合は、“ -” (全角ハイフン)とする。

【コード6】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システム I D	半角 1	“ K” を設定する。
2	バージョン 番号	半角 2	“ 71” を設定する。 (1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	自動車の種別	全角 4	“ 軽自動車” を設定する。
4	用途	全角 2	検査証出力用に編集した用途を設定する。 (例) 乗用
5	自家用・事業 用の別	全角 5	検査証出力用に編集した自家用・事業用の別を設定する。 (例 1) 自家用 (例 2) 事業用・適
6	車体の形状	半角 3	車体の形状コードを設定する。 (例) 001 (箱型) ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“ *” を設定する。 ※設定されていない場合は、“ -” とする。
7	乗車定員 1	半角 1	乗車定員 1 を設定する。 (例) 4 ※けん引車の場合は、“ -” とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“ *” を設定する。 ※設定されていない場合は、“ -” とする。
8	乗車定員 2	半角 1	乗車定員 2 を設定する。 (例) 2 ※けん引車の場合は、“ -” とする。 ※用途が乗用の場合は、“ -” とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“ *” を設定する。 ※設定されていない場合は、“ -” とする。
9	最大積載量 1	半角 3	最大積載量 1 を設定する (1 k g 単位) 。 (例 1) 420 (例 2) 90 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“ *” を設定する。 ※設定されていない場合は、“ -” とする。
10	最大積載量 2	半角 3	最大積載量 2 を設定する (1 k g 単位) 。 (例 1) 250 (例 2) 90 ※けん引車の場合は、“ -” とする。 ※用途が乗用の場合は、“ -” とする。 ※乗車定員 2 が未設定の場合は、“ -” とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“ *” を設定する。 ※設定されていない場合は、“ -” とする。

項番	内容	最大桁数	記事
11	車両総重量 1	半角 4	車両総重量 1 を設定する（1 k g 単位）。 （例 1）1120 （例 2）800 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
12	車両総重量 2	半角 4	車両総重量 2 を設定する（1 k g 単位）。 （例 1）1020 （例 2）800 ※けん引車の場合は、“-”とする。 ※乗車定員 2 が未設定の場合は、“-”とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
13	車名	半角 3	車名コードを設定する。 （例）131 （スズキ） ※6 号様式で車名を入力した場合は、“-”とする。 ※諸元ファイル索引エラーの場合は、“*”を設定する。 ※設定されていない場合は、“-”とする。
14	走行距離計・ 表示値	半角 6	新走行距離計・表示値を設定する。 （例 1）123000 （例 2）0 ※設定されていない場合は、“-”とする。
15	走行距離計・ 区分	半角 2	新走行距離計・区分を設定する。 （例 1）km （例 2）mi ※設定されていない場合は、“-”とする。

【コード7】

項番	内容	最大桁数	記事
1	システム I D	半角 1	“ K” 固定値
2	バージョン情報	半角 2	“ 81” 固定値 (1 桁目はコード番号、2 桁目は改定番号)
3	車両番号	全角 1 2	車両番号を設定する。 (例)“ 新宿△△5 8 0 お△△△1” ・ 中板の場合 標板文字＋分類番号＋かな文字＋一連番号 ・ 小板の場合 分類番号＋標板文字＋かな文字＋一連番号 ※標板文字、分類番号、一連番号の桁数が足りない場合、マスタから標板文字の取得に失敗した場合は全角スペース埋めを行う。
4	車台番号	半角 2 0	車台番号を設定する。 (例)“ TEST-1111” 職権打刻車台番号の場合は先頭の2桁を[]で囲む。
5	車両 I D	半角 1 4	車台 I Dを設定する。 (例)“ SYMMXXNNNNNC” 車両 I Dが設定されている場合は車両 I Dを設定。車両 I Dが設定されていない場合は半角スペースを設定。